

自然環境の活用や、地域住民との交流等、
特色あふれる学校で学びませんか？

令和6年度小規模特認校の 入学・転入学生を募集します！

○小規模特認校制度とは

小規模特認校制度は、少人数ならではのきめ細やかな指導や地域の特性を生かした体験活動など、特色ある教育活動を行う学校を教育委員会が指定し、「このような環境で学びたい、子どもを学ばせたい」と希望する児童と保護者に、一定の条件のもと市内全域から入学を認める制度です。

小規模特認校制度指定学校 本庄市立仁手小学校

～笑顔あふれる みんな大好き 仁手小～

児童数：55名（令和5年度）

所在地：仁手 618

学校教育目標

- 本気で自ら学ぶ子（知）
- 心豊かな子（徳）
- たくましい子（体）

仁手小学校の特色ある活動は、こちらから確認できます。



仁手小学校HP



▶小規模特認校への入学・転入学の条件

次のすべての条件を満たしていることが必要です

- ①市内在住であること
- ②特別支援学級を除き、全学級数が7学級以上の学校の通学区域に居住している児童であること
- ③児童とその保護者が、小規模特認校の教育活動等について理解し、協力できること
- ④通学にあたっては、保護者の責任において通学させること
- ⑤原則として、卒業まで在籍させること

▶募集定員

令和6年度の小学1～6年生で各学年若干名

▶学校見学・授業体験

随時実施します。事前に学校へご連絡ください

▶申請方法

下記の期間に直接学校教育課（市役所4階）へ

▶受付期間

10月2日(月)～12月28日(木)（土・日を除く）
午前8時30分～午後5時15分

▶面接

児童及びその保護者に対して、教育委員会と学校長による面接を実施します

問い合わせ先

学校教育課 ☎ 25- 1 1 8 3

本庄市立仁手小学校 ☎ 22- 2 9 6 7



高校生プロジェクト 2023

七高祭

8月8日、本庄レンガ倉庫で、保護者や学校関係者、七高祭に関心のある市民の方に向けた説明会を開催しました。七高祭で今後どのような活動をしていくのか、大人はどのような形で応援できるのかについて説明を行ったほか、参加する高校生たちが、活動報告や七高祭でやってみたいこと等についてプレゼンテーションをしました。



公式 Instagram で
情報発信中！



#3 マチノブカツ

今年の七高祭は、高校生が「マチノブカツ」を立ち上げて活動していきます。地域が抱える課題について考えたり、イベントを企画したり、高校生がそれぞれ興味のあることや好きなことで集まって学校の外に”部活”を作り、七高祭という場で表現する仕組みです。今回の記事では、そんな高校生たちが作る「マチノブカツ」の一部を紹介します。

運営部

運営部は、実行委員の仕事と併せて、四つの分野に担当を分け、七高祭を成功へと導きます。「統括」は、文化祭当日のスケジュール管理等の全体統括を行い、「マーケティング」は、七高祭で集められるデータからさまざまな統計をとり、「デザイン」は、フライヤーを作成、「SNS」は、公式 Instagram で情報を発信していきます。



ハンドメイド部

ハンドメイド部は他グループと共同で作業を行います。具体的には他グループが各イベントでプレゼントする景品を作製します。ハンドメイド部の得意なことをいかし、さまざまな面で協力していきます。